

## 巻末資料 2 生物多様性総合評価報告書骨子（案）有識者意見照会の

### 結果

#### 1. 意見照会の目的と概要

生物多様性総合評価報告書骨子（案）について、評価に関する記述の妥当性、評価の根拠となるデータとしてより適切なものの有無等について科学的・専門的立場からの意見を  
得るために、国内の生物分野の有識者に対し郵送による意見照会を実施した（2009年度実施）。

回答は、該当頁・行・項目名等を挙げて意見とその理由を記述する自由記述方式で実施した。

#### 2. 意見照会対象者

下記の環境省関連の検討会、及び生物分野における国内主要学術団体の自然保護関連委員・役員等、計 208 名を対象とした<sup>1</sup>。

表 意見照会の対象者

右の環境省関連検討会の委員等	絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会、同分科会 自然環境保全基礎調査検討会植生分科会、同植生調査作業部会 鳥類標識調査検討会 重要生態系監視地域モニタリング推進事業（モニタリングサイト1000）検討会、同分科会
右の生物分野における国内主要学術団体の自然保護関連委員・役員等	日本生態学会、日本森林学会、日本草地学会、日本陸水学会、日本海洋学会、日本動物分類学会、日本植物分類学会、日本哺乳類学会、日本鳥学会、日本爬虫両棲類学会、日本魚類学会、日本昆虫学会、日本ベントス学会、日本植物学会

#### 3. 意見照会結果

意見照会の有効回答者数は 51 名で、回収率は 24.5%であった。のべ 404 件の意見が得られ、それらを「章・節レベル」ごと、「評価の指標別」に整理して、評価報告書作成の参考にした。

<sup>1</sup> 平成 21 年度に実施した、「生物多様性の危機をもたらした要因に関する有識者アンケート」の対象者 581 人のうち、回答のあった 208 人を対象とした。